

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-025

PDCA	事務事業名	中心市街地活性化支援事業	部課等名	市民経済部 経済課 商工担当	担当	太田	
					内線等	321	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 4. 商工業・サービス業 単位施策： (2) 接続可能な商業の振興 個別施策： ③中心市街地の商業の魅力創出					
	根拠法令等	半田市中心市街地まちづくり支援事業補助金交付要綱					
	対象・目的	まちづくりコーディネート機能を担う商工会議所のまちづくり推進事業と、商工会議所と中心市街地の3商店街及びクラシティが一体となり実施する賑わい創出事業に補助金を支出し、魅力ある市街地の形成と賑わいのあるまちづくりを目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	まちづくり推進室事業費や、商業者による販売促進イベント、賑わい創出イベント等の実施に係る費用について補助金を支出し、中心市街地の活性化を支援する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①チャレンジショップ出店数			1	件	
		②賑わい事業のイベント開催回数	4	4	4	回	
		③賑わい事業のチラシやマップ等の作成	4	4	4	回	
		事業費	5,498	8,057	3,539	千円	
		人件費	4,094	4,685	4,658	千円	
		総事業費	9,592	12,742	8,197	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①歩行者・自転車通行量	実績値	6,658	6,858	7,128	件
			目標値	7,300	7,300	7,300	
			実績値				
			目標値				
			実績値				
目標値							
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ある
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
		C 商工会議所まちづくり推進室と連携を図りながら、若手創業者の育成を目的に、クラシティの空きテナントを活用したチャレンジショップ事業の実施や名鉄知多半田駅周辺の半田ランブリングタウン商店街が実施した地域賑わいイベントの後方支援を行った。また、中心市街地の3商店街とクラシティが、四季をテーマとしたイベントの開催や、まちなか宝くじを発行し、中心市街地の消費喚起とにぎわい創出を図ることができた。今後も工夫した取組を試行し、中心市街地に恒常的なにぎわい創出へつなげることが課題である。					
A 目標課題解決のための	今後の事業の方向性	改善推進 引き続き、知多半田駅からJR半田駅間の区域を中心に、若手創業者の育成と地域の若手商業者等から新たに提案された事業アイデアが実現化できるよう半田商工会議所や中心市街地の3商店街及びクラシティと連携を図りながら街のにぎわいを創出する。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①歩行者・自転車通行量			7,300	人/日	